

公益財団法人

NO. 66 (2022. 5. 30)

三河郷友会会報

三河郷友会 OB・OG 会

3年目に入った新型コロナ（危機管理）対応について

理事長 中村 民雄

年明け早々、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）が蔓延しはじめ瞬く間に拡大し、当学生会館でも数人の感染者が出ました。オミクロン株は重症化しない、感染しても無症状か軽症の人が多いう。事実、館生も感染当初は40度近く上がった熱も3・4日で平熱に下がっています。財団として最も忙しい年度末、次年度予算の審議や入館選考といった時期と重なったこともあり、館長はもちろんのこと女子学生の救急搬送には館長の奥様に同乗してもらおうという対応をとりました。5月の連休も明け大学も落ち着きを取り戻しつつありますが、これもひとえにOB・OGならびに保護者の方からのお力添えがあったからと感謝し、今後なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、実のところ2月4日に「まん延防止等重点措置」が発令され、東京都の感染者数が1日2万人を超え、濃厚接触者の追跡が追いつかなくなった頃はあまり深刻に思っていませんでした。そんな矢先の3月5日、急性アルコール中毒で救急車を呼ぶという昭和の時代のような騒ぎがおきました（最も館内での飲酒ではありません）。そんな矢先の3月6日、女子学生が御茶ノ水駅で体調不良を訴え一旦帰館したものの症状は改善せず救急車を要請しました。ところが搬送先が見つからず1時間ほど探してようやく見付き、女子学生なので館長の奥様に付き添ってもらいました。病院での検査の結果、陽性が判明し自宅療養を指示されたので隔離部屋を用意し、明け方戻ってきた館生をその部屋に移しました。それとともに、濃厚接触者と思われる数人に対し抗原検査キット（OBの徳倉建設寄贈）で全員の陰性を確認しました。隔離2日目には保健所からパルスオキシメーターと食料品が届き、発症日から10日間の隔離が指示されました。迅速な対応で、隔離初日の夜は40度近い熱が出ましたが3日目にはほぼ平熱にまで下がり、16日には回復し隔離も解除となりました。

それに対し男子館は共同生活を基本としますから感染者の出ないことを願っていましたが、残念ながら出てしまいました。3月8日に体温が40度に達しPCR検査の結果陽性と判明した男子学生は館長にも報告せず、部屋で寝ていました。2日後、熱は37度台に下がり喉の違和感もあったこの段階で館長に報告（遅いよ！）してきました。一応、本人も接触を避けて生活していたので濃厚接触者はいませんでした（社会人として「ハウ・レン・ソウ」は大切です！）。館長は直ちに保健所に連絡し、男子館の実状からホテル療養をお願いし迎えに来てもらいました。その後、感染ルートはバイト先であったり、大学の卒業コンパであったり別々ですが、男子学生3名の感染が判明しました。いずれも館長から保健所に連絡を取りホテル療養となりました。さらに年度末には、館生同志で旅行中に発熱し、医師の指示で愛知県に帰り自宅療養した館生も2名いました。うち1名は、急性アル中で救急搬送された館生というおまけまで付いてきました。

いずれにしても、今回の対応を教訓に5月以降もこの方式で感染対策をすすめていきますので、ご了解いただき暖かく見守ってくださいますようお願いいたします。

公益財団法人三河郷友会OB・OG会の活動報告

令和3年度事業報告並びに決算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1. 令和3年4月1日、OB8名・OG10名を新たに卒館生として迎えた。
2. ホームページ「三河の友」に学生の活動等を掲載し、広報活動を積極的に行った。
3. 特定費用準備金としての「改築改修積立金」は、今年度から新たな専用口座を三菱UFJ銀行に開設し、そこで積立てることとした。
4. 令和3年11月14日に予定していた第36回OB・OG総会は開催できなかった。その代わりに、理事・評議員懇談会を開きコロナ下での対応を報告・確認した。
5. 『公益財団法人三河郷友会会報』は、第64・65号を発行した。

収入の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
普通会費	600,000	672,000	72,000	3,000円×224口
特別会費	300,000	485,000	185,000	5,000円×97口
男子館改築積立金募金	1,000,000	1,020,000	20,000	20,000円×51口
創立百年史売上金	15,000	7,500	△ 7,500	7,500円×1冊
雑収入	10,000	0	△ 10,000	
前年度繰越金	1,337,559	1,337,559	0	
計	3,262,559	3,522,059	259,500	

支出の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
HP維持運営費	800,000	715,000	△ 85,000	HP維持・管理費、人件費
通信・連絡費	250,000	178,416	△ 71,584	切手・はがき代
印刷費	50,000	26,596	△ 23,404	会報(N064.65)印刷費
事務用品費	50,000	22,383	△ 27,617	ノートン・インク代等
振込手数料	40,000	37,361	△ 2,639	振込手数料
改築資金積立金	1,000,000	2,000,000	1,000,000	財団積立金として積立
次年度繰越金	1,072,559	542,303	△ 530,256	次年度への繰越金
計	3,262,559	3,522,059	259,500	

*改築改修積立金（三菱UFJ銀行へ一括積立）：3,500,000円+2,000,000円（令和4年3月31日）

令和4年度事業計画並びに予算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1. 令和4年4月1日、OB8名・OG14名を新たに卒館生として迎える。
2. 学生の活動とともにOB・OGとの交流についても掲載し、積極的な広報活動を行う。
3. 特定費用準備金としての「改築改修積立金」は、三菱UFJ銀行の専用口座に積立てる。
4. 令和4年11月13日、2年続けて開催できなかった第36回OB・OG総会を三河郷友会食堂で開催する。また、若いOB・OGに積極的に声をかけ、次世代を担う理事・評議員（特に女性）を発掘する予定である。
5. 『公益財団法人三河郷友会会報』は、第66・67号を発行する。

収入の部

	前年度	今年度	差異	備考
普通会費	600,000	600,000	0	3,000円×200口
特別会費	300,000	300,000	0	5,000円×60口
男子館改築積立金募金	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50口
創立百年史売上金	15,000	15,000	0	7,500円×2冊
雑収入	10,000	10,000	0	総会の残金等
前年度繰越金	1,337,559	542,303	△ 795,256	
計	3,262,559	2,467,303	△ 795,256	

支出の部

	前年度	今年度	差異	備考
H P維持運営費	800,000	400,000	△ 400,000	H P維持・管理費、人件費
通信・連絡費	250,000	250,000	0	切手・はがき代
印刷費	50,000	50,000	0	会報(N066.67)印刷費
事務用品費	50,000	50,000	0	インク代等
振込手数料	40,000	40,000	0	振込手数料
改築資金積立金	1,000,000	1,000,000	0	財団積立金として積立
次年度繰越金	1,072,559	677,303	△ 395,256	次年度への繰越金
	3,262,559	2,467,303	△ 795,256	

*改築改修積立金（平成30～令和3年度）：5,000,000円

*改築改修積立金（今年度振込み予定額）：1,000,000円

令和3年度会費納入者一覧（令和3年10月9日～令和4年3月31日）

（金額を入れず、会費の種類・口数のみ書きますのでご了承ください）

大坪ひろし（普特） 山田 真己（普改1） 永井 寛（普） 磯村 文太（普） 縣 誠司（普）
 伴 謙吾（普） 高原 雅美（普特改1） 天白 正孝（普） 清水 俊雄（普） 山田 渉（普特）
 都築 重和（普） 野村弥寿男（普） 加藤 康雄（普） 加藤 博和（普） 岩崎 仁（普）
 加藤 盛芳（普） 川澄 渚（普） 津ヶ谷勝紀（普） 榊原 潤（普） 大林 市郎（普特改1）
 武田 正道（普） 夏目 和人（普） 竹内 義人（特） 日下部健太（普） 稲垣 光治（普）
 梅村 耕一（普） 長田明香里（普） 青木 一正（普） 太田 博隆（普） 村木 央明（特）
 近藤 健太（特） 川寄 隆治（普特） 都築 豪（普） 富川 学（普） 岡 花音（普）
 姫野 健二（普） 大竹 克紀（普） 竹元 宏和（普） 古澤 龍平（普） 上原 智史（普特）
 尾関 香織（普） 藤井 千里（普） 荒牧 功（普） 杉浦 淳雄（特2） 成瀬 重行（普）
 原田 俊彦（普） 徳倉 正晴（改5） 財津 諄毅（特） 鈴木 隆樹（普） 吉見 卓郎（普）
 草深 匡紀（普） 山本 将史（普） 新美 英樹（普） 三浦友里江（普） 大谷 重信（普）
 安田 隆清（普） 増村 清人（普特改1） 中嶋 克宜（特） 大河内敦史（普） 鬼頭 誠（普特）
 市川 薫（普特改1） 都築 慎治（普改1） 塩野谷哲司（普） 名倉 茂子（普） 鈴木 義久（普）
 笠田 靖憲（普特） 加藤 俊二（特2改1） 宮脇 正夫（普） 石田 康雄（普） 稲垣 昂樹（普）

尾崎 哲則（普特改1） 神谷 寿興（特） 才木 康裕（普） 岩月 一詞（普） 坪根 隆（普）
徳倉 正晴（普特） 中村 民雄（改2） 高木 謙介（普） 所 亮輔（普） 新美 英樹（普）
近藤 啓勝（普） 前川 博久（普） 井上 英二（普） 竹内 精司（普改1） 村田 年彦（特）
内空閑英昭（普2特） 中根 隆裕（普改1） 山中 賢一（普） 永田 雅克（普改1） 小瀧あゆみ（普）
山田 忠（特） 杉浦 隆（改1） 榊原 都（特） 横山 泰久（普特） 中瀬 康博（普）
（普）：普通会費 （特）：特別会費 （改）：改築積立金 数字：会費の口数

令和4年度会費納入のお願い

三河郷友会OB会会則第3条（本会は、三河郷友会学生寮OB会員相互の交流と友情を深めるとともに、財団法人三河郷友会に対する維持運営に財政援助することを目的とする。）にもとづき、令和4年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。

なお、ご入金は郵便振替（00150-8-27434 三河郷友会OB会）でお願いいたします。

普通会費	3,000円
特別会費（1口）	5,000円（何口でも可）
男子寮改築積立金（1口）	20,000円（何口でも可）
*（公益財団法人三河郷友会で「改築改修積立金」として積立てます）	
創立百年史（残部僅少）	7,500円

*なお、特別会費等の繰越金についても金額が大きくなった場合、公益財団法人三河郷友会へ寄付し「財政援助等」に計上します。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜あ と が き＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・

新入館生および館生の保護者各位におかれましては、会費納入用の振り込み用紙が同封されていることに対し、時折「会費納入は義務ですか？」というお電話をいただきます。会費納入は義務でも強制でもありませんが、当・三河郷友会は愛知県三河部出身者の長年にわたる寄付によって成り立ってきました。現在もOB・OGを中心とする自主運営を行っており、駐車場収益と「男子寮改築積立金」はそのための資金として積み立てています。

また、新型コロナウイルスの蔓延も3年目を迎えますが、多くの方々からのご支援や善意を現役生への支援にあてています。このことをご理解いただき館生が卒業した暁にはぜひサポーターになっていただけるよう、保護者の方からもお伝えいただきたく『会報』をお送りしています。現職世代が高齢者を支える「年金制度」とは違い、中・高年世代が現役生を支援する三河郷友会のシステムをご理解いただき、息の長いお付き合いを何卒よろしく申し上げます。

（理事長 中村民雄）

OB会事務局

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-19-37

公益財団法人三河郷友会

info@mikawagoyukai.net

<http://www.mikawagoyukai.net>

TEL 03-3946-0342（館長：酒井）